

★ 第 2 回検討委員会ワークショップ（10/15）及び住民ワークショップ（11/10）のまとめ			
基本方針 （来てもらう目的づくり等）	取り組む内容	10/15 ワークショップで示された意見	11/10 ワークショップで示された意見
① 基本方針 I スポーツをする方 に来てもらう 【スポーツを通じて 共生する地域社会の 構築】	◎ふれあいの森公園の改修 （スポーツ分科会の意見）	・トラックの全天候型化 ・競技場内アスレチック（ストレッチ）センターの整備 ・アスレチック（ストレッチ）センターに大会情報コーナーを設置 ・クロスカントリーコースの整備 ・公園内トイレの改修 ・トラック照明の改善 ・その他公園内施設の改修（フィールド、テニスコート、管理棟など）	・屋外（競技場周辺）に屋外健康遊具の設置 ・冬のクロスカントリーコースが使えるよう整備 ・フィールド内を整備して多目的に使う
	○スポーツ合宿の誘致	・受け入れ環境の整備（合宿施設の増強等） ・ふれあいの森を活かした合宿プログラムの開発 ・合宿に合わせてランニングイベントの開催（交流） ・陸上、スポーツクラブ、知名度のある団体の合宿誘致	・長距離だけでなく、テニスなど色々な合宿の誘致 ・陸上、スポーツクラブ、知名度のある団体の合宿誘致 ・宿泊施設とスポーツ施設の予約を 1 か所で行えるよう
	○スポーツイベントの実施・誘致	・新鶴マラソン・ウルトラマラソン等のロードレースイベントの開催 ・多様な人に来てもらうための新鶴独自のイベント ・広域のスポーツイベントの誘致（ロード、自転車、トレッキング、ウォーキング、その他） ・ウォーキング（町内外）イベントの開催（生涯スポーツ）仲間づくり ・スポーツイベントの観戦に来てもらう ・各学校のスポーツ競技大会等での利用促進（他に PTA や地区 学校行事で利用）	・ロードレースイベントなどを開催する ・新鶴を全面に押し出した多様な方が来るイベント ・グランドゴルフイベント（大会）の誘致
	○町民や周辺エリア住民の利用促進	・周辺ロードを含めたマラソン等の練習環境の充実（周辺道路でのランニング環境の改善） ・小中学生の運動習慣のための取り組み ・地元ランニングクラブの練習、合宿、トレーニングにつかう（ランニングの聖地化） ・学生（小中高大 生）が練習会を行う（マシンの設置） ・会社帰りにラン＆サウナ ・各学校のスポーツ競技会（小中高）	・民泊、農泊施設を増やして宿泊機能を補完する ・
	○組み合わせの体験プログラム	・多様なスポーツ愛好家が交流するための仕組みづくり ・スポーツのあとの夜空体験（組み合わせ） ・食とスポーツの融合（ぶどう、人参、ワイン、お茶 など） ・若者がスポーツを楽しむ（スケートボード、ローラーブレード、3 × 3 コート、ポッチャ）場所の提供 ・町内外の方がテニスを楽しむ（場所を提供する）	・新鶴を活かした合宿プログラムの開発（特に食事） ・テニスコートを大会で使えるようにする ・サバイバルゲーム合宿 ・ウォーキング+温泉+ブドウ狩り（連携）

基本方針 (来てもらう目的づくり等)	取り組む内容	10/15 ワークショップで示された意見	11/10 ワークショップで示された意見
② 基本方針Ⅱ 公園を楽しみ癒されたい人に来てもらう 【癒しを求める方へ提供する新鶴ならではの健康増進活動の推進】	○癒されて「健康」を回復する活動ができる環境の整備	・温泉施設のプロモーションを推進する ・受け入れ環境の整備（ウォーキング施設等） ・子供たちの体を動かす遊び場（町内外から来てもらう） ・遊具の整備（アスレチック広場の遊具拡充） ・子育て世代が親子で遊ぶ場所の提供 ・健康増進（ウォーキング・ランニング・ストレッチ・マラソン）と温泉 ・キャンプ場を本格的なアスレチック施設へ整備 ・四季折々の花を楽しめる花畑を整備（管理運用） ・多目的広場（芝生）の活用	・アスレチック公園（小さい子供が遊べる遊具）の整備 ・足湯の整備（手軽にはいれる） ・グランピング施設の併設 ・ハンモックなど簡易な癒し器具などを貸し出す（設置）
	○ヘルスツーリズムの推進	・食から健康になるプログラムの開発 ・森林セラピー等の検討、取り組み推進 ・ヘルスプロモーション的な事業の開催 ・メンタルヘルスツーリズムを検討（非日常・景色・食・温泉・運動）しプロデュース	・小学生の運動習慣を定期的に習慣化するツーリズムなど ・定期的なスポーツを継続して行うツーリズム ・森林セラピーとの検討（森林浴ウォーキング） ・青空ヨガ・星空ヨガなどを実施（ツーリズム）
③ 基本方針Ⅲ 多様な連携プログラムを楽しみに「観光」に来てもらう 【ふれあいの森公園と周辺地域の振興】	○ワインツーリズムの推進	・ワインフェスの振興、展開 ・ワイナリーと温泉の連携プログラムの開発 ・宿泊してスポーツ⇒ワイン⇒食事 ・ワイン好きな方対象のスイーツマラソン（⇒完走後に温泉とワイン）	・ワインブドウやその関連品から商品開発 ・宿泊してスポーツ⇒ワイン⇒食事ドウの朝摘み体験の復活 ・夜のワイナリー体験（音楽とワインでゆっくり癒される） ・ワイナリーの夜営業の復活
	○周辺環境を活かした体験型ツーリズムの推進	・自然体験、天体観測体験など ・雪まつり（歳の神、凧揚げ大会、雪像）フォトコンテスト ・星空キャンプ（夕食は新鶴の食材を活かして提供）	・大斜面を使ったソリ遊び ・雪遊びをイベント化 ・天体観測などの自然体験（解説付き）・星空キャンプ
	○食と健康の連携プログラム	・スポーツイベントと温泉施設の連携プログラム ・スポーツと食の連携（勝ち飯）をプロデュース	・健康的なバーベキューができる施設やプログラム ・新鶴のお母さんが作る健康食 ・ガストロノミーツーリズム、発酵食品ウォーキング ・新鶴蕎麦まつり、蕎麦愛好家との連携
	○多様なイベント等との連携	・町民運動会（新鶴地域） ・ペット（犬、猫）の大会等の開催 ・マルシェ、朝市、フリマを開催する ・姉妹都市との交流 ・動物パークの設置（ドッグランなど）	・サバイバルゲームイベント（大会）の会場にする ・eスポーツの会場 ・犬を連れて散歩ができるようにする（ドックラン） ・夜の運動会（鬼ごっこ、コスプレ運動会など） ・ふれあい牧場（会津農林高校との連携） ・朝フリーマーケット、朝市（マルシェ） ・コスプレ祭りと撮影会をする
	○施設を使った連携プログラム	・高齢者のグラウンドゴルフ大会・高齢者運動教室の開催 ・レジャーランドを外部からもってくる（希望） ・物産館の再利用（観光・物産との連携） ・新鶴温泉との連携（日帰り温泉の割引券など）	・車で泊まれるオートキャンプ（新鶴温泉と連携） ・自転車を利用した観光ルートの開発 ・三十三観音ツアーで公園に寄ってもらう ・施設を使い体験型ワークショップの開催

基本方針	取り組む内容	10/15 ワークショップで示された意見	11/10 ワークショップで示された意見
◎プロモーションの方針 【来てもらうために必要な体制の整備】	○情報発信・プロモーションを充実	・行政や関係団体のホームページでの情報発信 ・姉妹都市との交流による訪問者誘致 ・観光協会、旅行会社とのタイアップ ・「タオル持参で割引」「学生向けプラン」をつくって誘致を広報する（SNSを活用） ・40人規模の宿泊所があると良い ・暑さ対策（周辺にコンビニ等の商店がない）自販機はある ・施設内にコンビニやカフェ（商店・休めるところ）が欲しい ・移住希望者へ向けてのプログラムに施設を盛り込む（体験プラン）農業も含むよう拡大	・お土産品（新鶴ならではの）の開発・発売 ・ホームページやSNSでの情報発信（定期的に） ・都市部（郡山・仙台・福島・新潟など）の家族をターゲットとした取り組み ・ライブカメラの設置と発信 ・お金を使ってもらうための仕組みづくり（飲食、土産物の開発／おたね人参を活用） ・住民の自尊心（シビックプライド）の醸成 ・根岸駅からの徒歩で観光するルート（歩道整備）
	○施策・事業の実行主体の設立・活動推進	・連携団体の設立 ・関係者の協議会などの設立（町、農、産、観光） ・地元のランニング愛好家などが地区イベントへ参加する体制（企業協賛・メリットが必要） ・スポーツコミッションの設置 ・新鶴インフォメーションセンターの設置 ・エリアへの公共交通の充実（あいあいタクシーとの連携強化等） ・バスなどの公共交通機関との連携（特に高齢者向け）	・只見線との連携 ・新鶴温泉との連携 ・スタンプラリーで景品や割引券を配る ・飲食店や宿泊施設との連携 ・コンテンツプレイヤー、マネージャーの発掘・育成

※全ての意見を実現できるわけではないので、今後基本構想をもとに実施する主体において検討する材料とする。